

■第1期人権施策推進審議会の活動まとめ

【資料5】

任期1年目			
開催回	第1回	第2回	第3回
	2022/9/26	2023/3/29	2023/7/10
審議事項	・中野区の人権に関わる施策及び事業紹介 ・人権擁護委員の事業紹介 ・特別な窓口対応を必要とした調査結果 ・人権担当が受けた人権相談内容	・令和3年度及び令和4年度いじめ調査結果報告 ・中野区の人権教育について ・特別な窓口対応を必要とした調査結果報告 ・男女共同参画及びユニバーサルデザイン推進に係る調査結果報告 ・性的マイノリティ区民講座 実施後報告 ・令和4年度 中野区人権啓発事業について ・中野区の人権に関わる施策及び事業紹介 ・各委員が感じる人権課題の報告	・特別な窓口対応を必要とした調査結果 ・令和5年度人権啓発事業（予定含む） ・令和5年度審議会開催スケジュール案 ・「中野区男女共同参画基本計画」計画改定 ・「中野区ユニバーサルデザイン推進計画」計画改定
主な発言内容	・中野区人権条例を制定するだけでなく、実質化することに意味がある ・人権を子どもに教えるのは難しい。一回取り組むだけでは意味がなく、ターゲットややり方を変え何度も取り組むべき ・中野区の学校で起きているいじめ対策について知りたい ・中野区の多文化共生をさらに強化していく必要がある ・子を持つ親、特に母親の日本語学習を強化する必要がある ・余計な配慮に気づかないのは多文化共生が根付いていないという証拠 ・マイノリティに人が溶け込める施策は少ない、マイノリティが生きやすい社会の実現が必要 ・DVに関して、本当に助けが必要な人が相談できないのは、情報が行き届いていない可能性がある	・生徒たちの教育への権利・人権をどう守るかも重要 ・いじめ発生件数が多いと感じた、解決できるようしっかりと対策を講じてほしい ・ネットいじめは外部からの確認が難しく、匿名性も高いので認知しきれてない ・区民の取り組みの情報をキャッチしてもらいたい、場合によっては、提案型の委託事業も実施してほしい ・中野区で活動する団体が横でつながって支援の輪を広げていくことが重要 ・性的マイノリティの啓発は興味のなかった人を呼び込むことが重要 ・地域住民の方に人権課題をいかに身近に感じてもらえるかが重要 ・区が主催するイベントの参加者は男女半々にしてほしい ・子どもの時からしっかりと語学教育を受けないと、その子の人格形成に影響してしまう	・外国人の人権保障についての普及啓発を充実してほしい ・こうした計画改定は、区民と一緒に作りあげていく形がよい ・男女共同参画については、幼稚園、保育園、中学校まで、保護者に対して具体的に何か働きかけるような施策が必要ではないか ・DVを受けた女性を保護することも重要であるが、そこに至るまでの過程のあり方を支援することが必要 ・今後は民間団体との連携が重要 ・人権は関連するさまざまな条例や計画があり、整合性を図ること、関連する条例の体系化が必要 ・外国人への情報提供の充実という視点をUD計画には盛り込んだほうがよい ・UD計画には障害者にもやさしいまちづくり、学校教育現場におけるバリア解消の視点を入れてもらいたい

任期2年目			
開催回	第4回	第5回	第6回
	2023/10/26	2024/3/15	2024/7/26
審議事項	・令和6年度人権啓発事業に関する意見交換 ・「中野区男女共同参画基本計画」計画改定 ・「中野区ユニバーサルデザイン推進計画」計画改定	・特別な窓口対応を必要とした調査結果 ・計画改定 1：中野区男女共同参画基本計画（第5次） 2：中野区ユニバーサルデザイン推進計画（第2次） ・令和5年度人権啓発事業	・特別な窓口対応を必要とした調査結果 ・令和6年度中野区人権啓発施策報告（予定含む） ・第1期人権施策推進審議会の活動まとめ ・第2期人権施策推進審議会について
主な発言内容	・外国人の人権啓発という観点では、当事者（外国人）参加型のパネルディスカッションを行うことが良い ・性的マイノリティ相談について、実績が少ない要因の分析、広報の強化や内容の工夫が必要 ・課題や問題を解決するには様々な団体や関係機関と連携していく必要がある ・行政が団体同士をつなげる橋渡しの存在になってほしい ・「やさしい日本語」の活用をもっとUD計画に盛り込んだほうがよい ・UDサポーター養成講座は、養成後の活躍の場が必要	・民間団体と連携して交流の場所を作ることが重要。場所があることで交流が増え、解決の糸口が増える。 ・生理用品の無料配布について、区役所以外の行政施設にも展開するとよい。生理用品を求めるニーズは高いと思うので、設置場所を増やすことは有効 ・ユニバーサルデザインについて、保護者の理解促進に向けたアプローチを強化してほしい ・相談自体にハードルの高さを感じて、なかなか利用しない・利用しにくい人がいる。実施方法や広報を工夫する必要がある。 ・新庁舎で展示スペースも増えるため、「外国人の人権」もパネル展で啓発をしてほしい ・女性支援については居住・住居支援の重要度が高い。住むところの確保、空き家対策と連携して解決してほしい ・この会議を今以上に意味あるものとするために、会議の際に1つ議題やテーマを決めて取り組むことでより深堀ができると考える	・アイヌ民族の人権問題について啓発活動をしてほしい。 ・人権問題というと差別解消に注目されることが多い。差別の解消だけに着目せず、1つの属性の中にも様々な課題や問題が複雑に絡み合っていることを加味して今後は議論をしていく必要がある。 （第1期人権審議会振り返り及び第2期人権審議会へ望むこと） ・第1期中野区人権施策推進審議会では、会の具体的な目的及び議論する内容が明確化されていなかった。第2期中野区人権施策推進審議会においては、審議会の具体的な目的及び議論していく内容を明らかにし、委員全員の共通認識としていただきたい。 ・中野区人権施策推進審議会で議論を行った内容や提案が、中野区の施策に反映される仕組みを構築してほしい。 ・人権問題を議論する際は、当事者の方々からの生の声を踏まえることで、より実のある議論の場になる。